

委員会のうごき

経済建設常任委員会

12月16日と17日の2日間、付託された陳情1件と所管の事務調査及び3か所の現地調査並びに2団体との意見交換会を行った。

(大山振興課)

準備進む加工所

補正予算で農産物加工所に新たに備品購入費550万円支出することについて聞き取りをした。

説明では10万円以内の厨房機器が多数あり、これは加工所建設費に含むことができない。



JA各支所長との意見交換会

ごみ置き場の建設が予想以上に高額なことも指摘し、説明を聞いた。

(観光商工課)

お買い物券の効果は

今年度商工会と実施したお買い物券はおおむね好評に販売できた。しかし、目的であった町内商店の売上向上

につながっていたのか、委員会は売り方や使用状況を聞き、詳細な検証を求めた。

また、保証料補助事業の実施について説明を聞いた。

(建設課)

高規格道路完成は

高規格道路は次年度からの予算削減によって完成時期が大幅に遅れる見込みとなった。今年度予定していた若者向け住宅は次年度からの入居となる。

(農林水産課)

荒地地減少に

耕作放棄地対策事業に畑88筆水田14筆の申し込みがあり、工事着工は12月現在水田3筆畑16筆となっている。年度末までにかんりの数が見込まれている。9月に補正予算化した平田漁港修繕工事は、被害が拡大し、広範囲におよんだため別事業で検討する。

(水道課)

うれしい誤算

補正予算の汚泥処理料(99万円)の増額は名和地区の加入者が予想以上に多かったためのもので、中山地区で下水道に異物混入事故が多発のため次年度の維持管理費の増加が予想される。

(農業委員会)

これからの委員会は

農業委員会のあり方を考える特別委員会を、各地区3名と会長・会長代理の11名で立ち上げた。

農地パトロールを実施し、耕作放棄地解消に向けて農林水産課と連携して対応する。

(現地調査)

建設課関係では、御来屋漁港団地の外装傷み具合を確認し、工事の内容を聞き取りした。また、ナスパルタウンに温泉を供給する給湯施設工事場所の視察をした。

農林水産課関係では、12月補正予算化した御来屋漁港の荷揚げ場工事変更の概要を視察した。

(団体との意見交換会)

12月17日にJA鳥取西部大山町内各支所長18日に大山町商工会と経済建設常任委員会の意見交換会を開催した。JAは今後の農政について政権交代によりいまだはつきりと明言できないでいる。

また、今年度まで行ってきた米の生産調整事務を農政事務局が受け持つ予定であるが、実際どこが受け持つのか不明である。

恵みの里公社の運営は、大山ブランドを作り出す思いは同じであり、町内3支所に協力体制をお願いし快諾を得た。

大山町商工会は、お買い物券のプレミア部分、保証協会の金利負担等お礼をいただき次年度事業の要望を受けた。

また、海外からスキーマの問い合わせがあることの報告も聞いた。